

主催者向けチェックリスト

全般的な事項

- 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化しておく
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する
- 障がい者や高齢者など利用者の特性にも配慮する
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた書面について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておく
- イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針についてあらかじめ検討しておく
- 地元への丁寧な説明と協力体制の構築（地元感情が一番の障害になりうる）

イベント参加募集時の対応

- 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求める（イベント当日に書面で確認を行う）
 - 体調がよくない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参する（参加受付時、着替え時等のスポーツを行っていない時、会話をする際にはマスクを着用する）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保する（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- イベント中に大きな声で会話、応援等を控える
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守、主催者の指示に従う
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する
- 参加者の交通手段について、駐車場の確保や、チャーター便の設定などの検討をする

当日の参加受付時の対応

- 受付窓口には、手指消毒剤を設置する
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛ける（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる）
- 人と人が対面する場所は、できるだけアクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する
- 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行う
- 受付を行うスタッフには、マスクを着用させる
- 当日の受付を避け、事前エントリーや配布物の事前準備などで、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避け、混雑を極力避ける
- 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求める
 - 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意する
 - 利用当日の体温
 - 利用前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
 - 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - 息苦しさ（呼吸困難）
 - 嗅覚や味覚の異常
 - だるさ（倦怠（けんたい）感）、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

参加者への対応

- マスク等の準備
 - 参加者がマスクを準備しているか確認する
 - 参加の受付、着替え、表彰式等の運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求める（運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする）
- スポーツイベント参加前後の留意事項
 - イベントの前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避ける
 - 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮する

当日に主催者が準備すべき事項の対応

- 可能な限り会場を屋外に設ける
- 会場レイアウトは広くとる（掲示板、速報、売店など）
- 手洗い場所
 - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする
 - スタート、フィニッシュ、会場にできるだけ手洗い場を確保する
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意する（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しない）
 - 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する
- 更衣室、休憩・待機スペース
 - 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける（障がい者の介助を行う場合を除く）
 - ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる
 - 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）を、こまめに消毒する
 - 室内では換気に配慮する
 - スタッフが入退室する場合は前後に手洗いをする
- 洗面所
 - トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）を、こまめに消毒する
 - トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する
 - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする
 - 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しない）
- 飲食物の提供時
 - 飲食物の提供は極力対面での提供を避ける
 - 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛ける
 - スポーツドリンク等の飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップで提供する
 - 果物等の食品については、参加者が同じトング等で大皿から取り分ける方式を避け、一人分を小皿に取り分けたものを参加者に提供するなど、工夫を行う
 - 飲食物を取り扱うスタッフにはマスクを着用させる
- 観客の管理
 - 観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとる
 - 大声での声援や会話を控える
 - 会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知する
- ゴミの廃棄
 - 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する
 - マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する
- テクニカルミーティングなどの室内行事での注意

換気の悪い密閉空間とならないよう、定期的に窓を開け外気を取り入れる等の十分な換気を行う

換気設備を適切に運転する

表彰式は短時間化、簡素化に努める

競技運営上の対応

スタート地区、フィニッシュ地区、チェンジオーバー、観戦ゾーンなどでは参加者を適切に誘導し密集を避ける

コントロールでの密集を避ける（複数ユニット）

地図回収・返却については、回収を行わないなどの工夫をする

結果速報掲示はオンラインを有効活用する

運営準備時においても三密に注意する

救護時の感染防止体制を整える

衣類の一時預かりはしない、または個別にビニール袋に入れる

コンパス・カードなどのレンタル品の消毒をする

ユニットなどの備品も事後に洗浄、消毒などを適切に行う

給水所での給水提供の際も、個別の紙コップなどで役員が提供する